

通常学級における特別支援教育に資する 「連携スキル」研修カリキュラムの開発をめざして

通常学級における特別支援教育の実践に資する連携。

それを実施するための教師のスキル（「連携スキル」）は、いかなるものか。

私たちは、「連携スキル」を伸長するための研修方法を開発することを目指しています。

1 事業の目標	通常学級における特別支援教育を効果的に実践するための連携スキルの向上に資する研修カリキュラムを開発し、展開する。	
2 事業の期間	平成 28～33 年度までの 6 年間	
3 事業の展開	平成 28 年度 連携事例の収集（連携スキルを明確化するための資料とする） 平成 29 年度 連携支援の構築と活用（これを連携事例として収集する） 平成 30 年度 連携スキルの明確化（これに関わる連携事例を収集する） 平成 31 年度 連携スキル研修カリキュラム開発 平成 32 年度 研修カリキュラムの改良と実施 平成 33 年度 研修カリキュラムの実践報告と手引き作成	
4 連携事例	通常学級における特別支援教育を効果的に実践するための 連携スキルに関する探索的研究	
	特別支援教育コーディネーターによる校内連携に着目して	第 6 報
	保育園や学校等における外部連携に着目して	第 7 報
	「後方視的対話」活用による個別の指導計画作成の事例を通して	第 8 報
	外部連携に資する予備的ネットワーク作りに着目して	第 9 報
	岩手大学リポジトリ https://iwate-u.repo.nii.ac.jp 教育実践研究論文集 第 5 巻	
	高等学校におけるスクールソーシャルワーカーの有効活用に資する特別支援教育コーディネーターの連携内容	Web 未公開
5 その他の関連事業	平成 28 年度には、下記によって連携状況に関する情報交換を実施した。 （ 1 ）特別支援教育セミナーの開催（15 回、関係機関主催事業への協力等による） （ 2 ）県内各地「特別支援教育コーディネーター連絡会」等への陪席（12 回）	

本事業にかかわりご協力をいただきました岩手県教育委員会様をはじめとする関係機関、関係の皆様へ感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 31 日

平成 29 年度 附属学校特別支援連携専門委員会 委員長 佐々木 全